PLATINUM
JAPAN 1919

2026年11月25日

乾かない万年筆として誕生から15年、「＃3776 センチュリー」待望のフルリニューアル。更なる進化を遂げた、新定番モデルが誕生。

設計を一新し「スリップシール機構」の性能を50%アップ

プラチナ万年筆株式会社(本社：東京、社長：中田俊也)は、「乾かない万年筆」として誕生した「#3776 センチュリー」の発売 15 周年を記念し、性能を 50%以上向上させた進化モデル「#3776 センチュリー Ver.2.0」を発売します。本年 2 月には、緻密な内部構造を視覚的にも楽しめる透明モデルを限定発売し、先行して披露しました。今回は、その進化した性能を備えた定番モデルとして、4 色の軸色をラインアップします。

1978 年、「日本一の万年筆」を目指し、当社のフラッグシップモデルとして誕生した「#3776」。2011 年には、万年筆の最大の弱点ともいえるインクの乾燥を防ぐ「スリップシール機構」を搭載し、「#3776 センチュリー」へとフルリニューアルを遂げました。そして 2026 年、さらなる機能性の向上を目指し、細部に至るまで設計を一新。スリップシール機構の性能を従来比 50%以上向上させた「#3776 センチュリー Ver.2.0」が誕生しました。

今回のリニューアルで追求したのは、時を経ても変わることのない、さらなる心地よさです。キャップを閉じた状態でのインクの水分蒸発を極限まで抑えることで、ペン先はいつまでも潤いを保ちます。そのため、久しぶりに万年筆を手にしたときも、まるでインクを入れた直後のような、みずみずしく新鮮な書き味をお楽しみいただけます。新たな機構設計により、インクの潤いを保つ性能は、従来の 2 年間から 3 年以上へと大幅に向上。いつでも快適に書き始められる安心感が、日々の万年筆ライフに、より豊かなゆとりをもたらします。

＜商品説明＞

・インク乾燥を更に防ぐため、本体設計を一新してスリップシール機構の性能を50%以上アップさせました。
・ペン先の刻印が新デザインになりました。
・1978年発売の「＃3776」以降初のクリップ新デザインを採用しました。
・軸色を新しく４つのカラーと、ペン先をゴールドとロジウムのバリエーションで揃えました。

＜#3776 センチュリーVer.2.0 万年筆＞

・発売日：2026年12月1日（一部店舗にて先行販売。又、先行販売は細字・中字のみ）
※ 一般販売は2027年2月1日（細字・中字のみ）※ 全ペンポイントの発売は2027年4月1日予定

・品番　PNB-700（ゴールド）
・軸色　・＃1 ブラックインブラック・#10 ヴェスパーレッド・#40 ディープモス
　・#50 ラヴェンナブルー
・価格　66,000 円 （税込）
・製品仕様　・胴・鞘・グリップ・天冠・尾飾：樹脂
　・金輪・天輪・尻輪・クリップ・中ネジ：金属にゴールドフィニッシュ
・ペン先　14金ペン　UEF（超極細）／EF（極細）／F（細字）／M（中字）／B（太字）／C（極太）
・サイズ　全長139.5mm× 最大径13mm　標準重量20.1ｇ

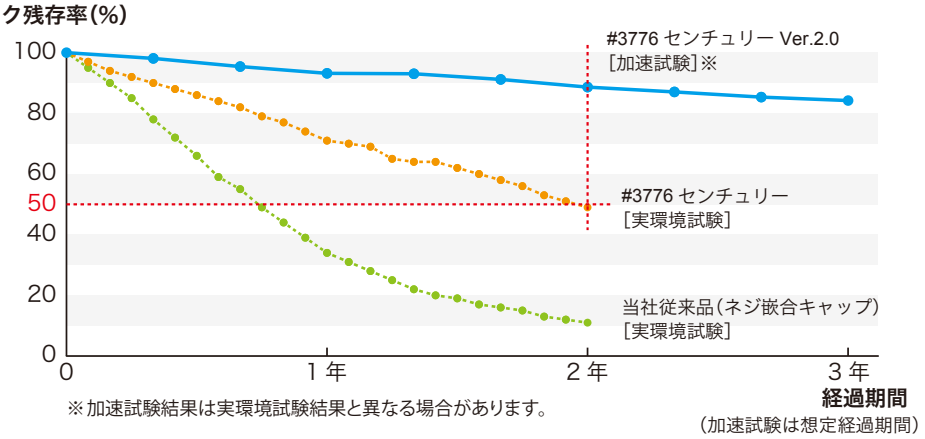
・品番　PNB-700RH（ロジウム）
・軸色　・＃1 ブラックインブラック・#10 ヴェスパーレッド・#40 ディープモス
　・#50 ラヴェンナブルー
・価格　69,300 円 （税込）
・製品仕様　・胴・鞘・グリップ・天冠・尾飾：樹脂
　・金輪・天輪・尻輪・クリップ・中ネジ：金属にロジウムフィニッシュ
・ペン先　14金ペンにロジウムフィニッシュ
　UEF（超極細）／EF（極細）／F（細字）／M（中字）／B（太字）／C（極太）
・サイズ　全長139.5mm× 最大径13mm　標準重量20.1ｇ

気密性能の進化：潤いがさらに続くペン先へ

「スリップシール機構」をはじめ、万年筆内部のインクと空気の流れを徹底的に研究しその構造を見直しました。気密性能がさらに高まったことで、キャップをした状態から滑らかに筆記できる期間が、従来の約2年間から3年超へと飛躍的な進化を遂げました。インクの水分が外に逃げないことでペン先の潤いが常に保たれ、いつでも新鮮で滑らかな書き出しを実感いただけます。

■インク残存率の推移

インクの残存率が低くなるということは、インクの水分が抜けてしまうということです。水分が飛ぶとインクの粘り気（粘度）が強くなり、書き味の悪化につながります。通常、インク残存率が５０%を下回ると筆記性が悪くなりますが、「#3776センチュリー Ver.2.0」は、「#3776センチュリー 」の1.5倍以上の期間が経過しても高いインク残存率をキープできていることが試験で明らかになりました。



※加速試験結果は実環境試験結果と異なる場合があります。

加速試験
カートリッジインク（ブルーブラック）を装着してキャップを締めた状態で水平に静置し、室温50℃・湿度 40% の環境下で、1 週間ごとに 9 週間の重量測定（実時間約 3 年相当）を実施。

実環境試験
カートリッジインク（ブルーブラック）を装着してキャップを締めた状態で水平に静置し、室温（冷暗所）環境下で、1 ヶ月ごとに重量測定を実施。

■首軸の気密性を強化

万年筆はキャップを締めた状態であっても、わずかな外気の出入りがインク乾燥の要因となっていました。そこで「#3776 センチュリー Ver.2.0」では、グリップ内部の部品構成を刷新。さらに胴軸との接合部にO リング（ガスケット）を装着したことで、気密性を飛躍的に高めることに成功しました。メンテナンス性も向上し、より安心で快適な筆記体験をお届けします。



※画像は #3776 センチュリー ver.2.0 デモンストレーター

■インナーキャップがやさしく気密

「スリップシール機構」のインナーキャップの可動域を極力減らすことで、スプリングの反発力を抑えました。キャップを閉めたときの抵抗は少なくなりますが、インナーキャップ端面の接触に余計な力が加わることなく、やさしく、確実にシーリングし気密状態を保持することができます。



※画像は #3776 センチュリー ver.2.0 デモンストレーター

PNB-700（ゴールド）



PNB-700RH（ロジウム）





新刻印ペン先：富士山の高みを目指して

「日本一の万年筆を創り上げる」という富士山の標高を冠した熱い想いは、時代を超えて私たちプラチナ万年筆の原動力であり続けてきました。その情熱を今もなお受け継ぎ、「#3776 センチュリー」の誕生を経て、基本性能をさらに磨き上げたのが「#3776 センチュリー Ver.2.0」です。象徴となる新しいペン先にはこの志を反映させ、富士の山肌と冠雪をモチーフにした刻印を新たにデザイン。手にする人の心に寄り添い、最高峰の書き味と確かな品質をお届けします。



新デザインクリップ：一滴の雫からはじまるストーリー

一滴のインクの雫から広がる、美しい波紋――。プラチナ万年筆の「P マーク」には、ここから豊かな筆記文化が伝播してほしいという思想が込められています。この唯一無二のシンボルを、新生「＃3776 センチュリー Ver.2.0」ではクリップの造形へと昇華。フラッグシップの矜持を宿した、新たな意匠へと生まれ変わりました。

至極の４色展開

「＃3776 センチュリー Ver.2.0」では 4 つのカラーバリエーションをご用意しました。万年筆の王道を征くブラックをはじめ、所有する歓びを刺激する、個性豊かなカラーをラインアップしました。



Black in Black
ブラックインブラック

「真の黒」をイメージしたプラチナ万年筆のフラッグシップモデルのスタンダード色を旧モデルから継承しました。



Vesper Red
ヴェスパーレッド

夕べの祈りを思わせる、静かで深みのある赤。落ち着いた気品と豊かな余韻をたたえた、印象深いカラー。



Ravenna Blue
ラヴェンナブルー

イタリア・ラヴェンナのモザイク画が魅せる深遠な青をモチーフにしました。書く時間をロマンで満たす、芸術的な佇まい。



Deep Moss
ディープモス

深い森の奥に息づく苔の静けさを表現しました。落ち着きあるダークグリーンが、書く時間に思考の深い集中をもたらします。

［報道関係者お問合せ先］
TEL 03-3835-4530

［商品に関する消費者お問合せ先］
お客様相談係 TEL 0120-875-760